

# 学外研修報告

## 第 5 回設備サポートセンター整備事業シンポジウム 参加報告

共通機器部門 藤高 仁

### 1. はじめに（目的等）

第 5 回設備サポートセンター整備事業シンポジウムに参加し平成 23 年度に採択された設備サポートセンター整備事業の最新の動向と今後の展開を聴講することにより新たな業務が発生した場合にも柔軟に対応できるよう備えることを目的とした。

### 2. 期間・場所

期間：平成 31 年 1 月 24 日・25 日

場所：岡山大学 津島キャンパス

### 3. 参加者等

主に設備サポートセンター整備事業採択校の教職員 約 200 名

### 4. 研修内容

第 5 回設備サポートセンター整備事業シンポジウムに参加しこれまでの採択校での取り組みの報告、文部科学省研究振興局学術機関課より整備事業の役割を解説いただき、分析機器メーカーからの「装置開発における企業戦略の新たな取り組みの紹介」を聴講し、他大学教職員とのディスカッションをおこなった。また岡山大学の共同利用設備の見学を通じて共同利用装置の運用に関するさまざまな情報を得た。

### 5. まとめと感想

平成 23 年度より開始した研究設備サポート整備事業であるが、新規の事業採択は終了した。学内共同利用にとどまらず地域との連携を強化し装置の共同利用を推進する事業が多く大変参考になった。見学会ではキャンパス内に複数ある共同利用設備を見学したが、分野に偏った大型の装置ではなくあらゆるニーズに

応えられるよう設備の設置が行われているように感じた。

今後は我々も学内共同利用装置の運用で広島大学に貢献することに加え学外利用の促進をはかり、地域の産学に対しても積極的な技術支援に努めなければならないと強く感じた。